

兵庫県  
保険医協会

# 明石支部二ニュース



No. 308  
2019・7・25

発行

兵庫県保険医協会 明石支部

支部長 吉岡 巖

神戸市中央区海岸通一丁目二一三

神戸フコク生命海岸通ビル五階

電話 〇七八(三九三)一八〇一

協会第51回総会 明石支部から11人が功労者表彰

## 協会設立50周年祝賀会に320人

協会は6月16日、神戸ポートピアホテルにて設立50周年となる第51回総会を開催。会員、来賓、家族など320人が出席した。

西山裕康理事長は開会あいさつで、協会設立後の50年間を振り返つ

た。とりわけ平成は、消費税の導入とその増税、社会保障削減の30年だったとした。今必要なことは、社会保障を充実させ、国民生活の将来不安を一掃することだと強調。そして、協会会員数が7520人と過去最高となったことに、感謝

の意を示すとともに、私たち執行部は、すべての会員と国民のために、医療の充実をめざして努力したいと決意を述べた。  
祝賀会では、神戸大学医学部クラシック音楽愛好会と兵庫医科大学室内楽団有志によるステージ演奏、鏡割りに加え、功労者表彰も行われた。表彰者161名の内、明石支部からは11人の会員が表彰を受けた。

神戸大学医学部クラシック愛好会と  
兵庫医科大学有志によるステージ演奏



次の半世紀へより良い医療をめざそうと語る西山理事長



祝賀会は、会場を埋めつくすほどの来賓・会員でいっぱいになった

### 明石支部からの表彰者 (敬称略・順不同)

- 西山 裕康
- 吉岡 巖
- 永本 浩
- 谷 順
- 楯谷 一成
- 丹家 聖仁
- 瀬戸屋利克
- 榎林 義雄
- 栗岡 一人
- 原 淳一朗
- 上田 京二

### 日常医療の現場で役立つ 『手話入門』講座に27人



指文字から医療現場で使える手話も実習

支部は6月29日、明石商工会議所会館で、講座「『手話入門』」を開催し、

えない・聞こえにくい患者さんとのコミュニケーションを開催した。

公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会から事務局次長・嘉田眞典氏を講師に招き、27人が参加した。講座の冒頭、榎林義雄支部幹事があいさつをした。参加者からの感想を紹介する。

#### 感想

● 日常使える手話を教えてもらえてよかったです。

● 手話は主語であることを再確認しました。心をこめて相手の目を見て、表情を見ていく大切さが分かりました。

● 今回参加できて、聴覚障害の方の日常生活等のが少しでも理解できて良かったです。

● 耳の不自由な方に躊躇してしまふことも多々ありましたが、今回のことを踏まえ、ジェスチャーでも口話でも伝えられる手段を見つけてトライしていこうと思います。



兵庫県保険医協会明石支部

# 大蔵海岸ZAZAZAバーベキュー!

明石支部 第15回納涼懇親会のご案内

## 8月17日(土) 午後6時~8時

### 『大蔵海岸 BBQ ZAZAZA』 (大蔵海岸海峡公園内)

(明石市大蔵海岸通1丁目・JR朝霧駅南へ徒歩3分・TEL:078-913-3009)

参加費：大人・中高生 5,000円 小学生：3,500円 幼児：無料

「ZAZAZA」BBQ セット MENU+持込料 (飲みもの、食べもの持込みOK!)

定員：70人 (申込締切8月7日(水)・下記にてFAX下さい)

大蔵海岸にリニューアル OPEN した、『大蔵海岸 BBQ ZAZAZA』で、バーベキューを企画しました!

2階の明石海峡大橋を間近に望むロケーションで、交流を深めませんか?

第15回目の今回は、BBQ セット MENU +食材や、お酒など好きなもののお持ち込みが可能です。

大蔵海岸はすぐ目の前。夜には砂浜散策もお楽しみ下さい。

先生お1人のご参加はもちろん、ご家族、スタッフのみなさまの親睦、福利厚生にもお役立て下さい。(暴雨・暴風時等は中止となります。)

申込締切後のキャンセルはキャンセル料がかかります。

お申し込み・お問い合わせは、兵庫県保険医協会事務局明石支部担当 本田・中西  
Tel.393-1803、FAX393-1802までどうぞ。



淡路島玉葱の  
ホイル焼きなど、  
お楽しみ食材を  
ご用意します♪

8月17日明石支部納涼懇親会 申込締切8月7日(水) 満席次第〆切

大蔵海岸 ZAZAZA バーベキュー! に参加申し込みします

医療機関名 \_\_\_\_\_ 電話 \_\_\_\_\_

参加代表者名 \_\_\_\_\_ 当日連絡先携帯電話: \_\_\_\_\_

参加人数 ・大人(中学生以上) \_\_\_\_\_ 人、小学生 \_\_\_\_\_ 人、幼児 \_\_\_\_\_ 人

## 2019年国民平和行進 7月11日明石を歩く

### 参加記 知ってもらおうのが平和への第一歩!



核兵器のない平和な世界の願いを込めて行進

「核兵器のない世界」の実現を訴え、8月に広島・長崎で開催される「原水爆禁止世界大会」を目指し、全国の市町村をアピルしながら歩く「国民平和行進」が今年も行われた。7月11日、榎林歯科の榎林義雄院長とスタッフ、協同歯科の松藤任司先生が明石市内で行進に参加した。参加者の感想文を紹介する。

今回3度目の平和行進に参加しました。これまで参加した中では一番人が多く、熱気があるように感じました。最後尾を歩き、この行進をみて一般の方はどういふ反応なのか見ながら歩きました。ちらっと見る人、行進が通り過ぎてから家から出て見ている人、行進が通り過ぎるまでじーっと見ている人、「ご苦労さまです」と声をかけてくれる人と様々な反応でした。平和行進を知らない3年前の私なら、ちらっと見ていただけです。知らない分からないことには関わりたくない気持ちがあるからです。でも、縁があり知っていく中で、平和への熱い思いを持った方が世代を超えて繋いでいこうと格闘されているのが平和行進のように思いました。

嬉しいことに、下校時の小学生が行進を見ながら「広島ってどこなん?」「車で3時間くらいのところ」と話していました。行進を通じて何か一つでも知ってもらおうのが意味のあることだと思います。まずは知ってもらおうのが平和への第一歩!今年も参加できて楽しかったです。



「平和」ののぼりを掲げ、明石市役所から行進した榎林先生(前列左から2番目)とスタッフ一同

【榎林歯科医院 スタッフ 梁瀬 まゆみ】